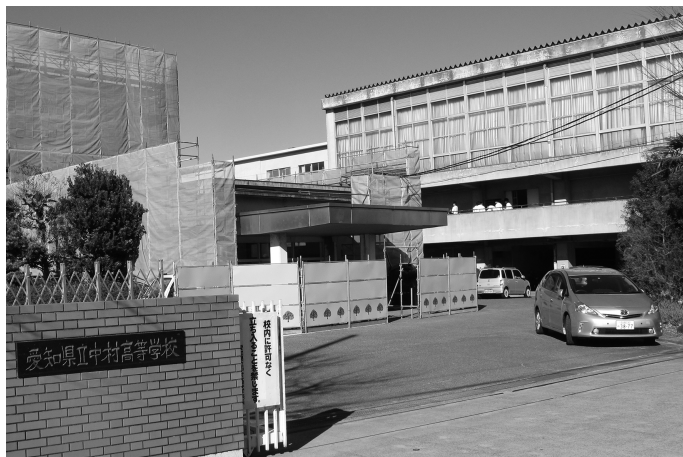


中村高校だより

第 262 号

愛知県立中村高等学校PTA
名古屋市中村区菊水町1-2-18
TEL 052-411-7760



「素敵な時間」はまだまだ続く

PTA会長 近藤 英生

中村高校66回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんにとって中村高校での3年間はどんな日々だったでしょうか。「勉強頑張った」「部活頑張った」「友達と沢山遊んだ」「楽しい事、嬉しい事があった」という思い出もあれば、「挫折感を味わった」「悩みが沢山あった」「心が折れた」という思い出もあるかと思います。このような思いは、これからの長い人生の中で「素敵な時間」の一つです。それに気づくのはまだ先の事かもしれません。若い時の時間はとても貴重なものなのです。

親の私達は皆さんの成長と、この3年間の全ての時間がかけがえのない宝物だと感じています。皆さんの存在そのものが幸せを運んでくれました。そしてこれからも皆さんが「素敵な時間」を歩んで欲しいと願っています。

だからこそ、皆さんには「素敵な時間・幸せな人生・豊かな人生」を歩む責任を感じて欲しいと思います。「素敵な時間」を作っていくのは自分の考え次第だと思います。失敗や挫折した時、不幸と思うのか、それとも成長のチャンスだと思うのか。壁にぶつかった時、「悪いのは自分じゃなくてまわりのせい」と不平不満を言うのか、それとも自分の可能性を信じてまわりの人たちに感謝する心を持てるのか。何事も考え次第で「素敵な時間」に変わっていきます。自分の人生に責任を持ち、良い事も悪い事も、出会いや経験を全て成長の糧にしましょう。そして、これからの「素敵な時間」は親や先生でなく、自分自身の力で切り開いていって欲しいと願っています。これからの時代を創っていくのは皆さんです！

皆さんの卒業とこれからの人生に心からの祝福とエールを贈ります。

「失ったものを数えるな 残されたものを最大限生かせ」

校長 渡邊 修

第66回生卒業おめでとう。皆さんの門出にあたり、「パラリンピックの父」と呼ばれるルードヴィヒ・グッドマン医師の言葉を送ります。この言葉に勇気づけられたのは、障害のある人たちばかりではありません。人は皆、「できる」ことより「できない」ことの方がずっと多い。時に、自分の力だけではどうにもならないことにも遭遇する。しかし、嘆いていても前に進めない。だから、「残されたものを最大限に生かせ」なのです。

コロナ禍にあって、失ったものが多すぎた皆さんに、「失ったものを数えるな」というのは、受け入れ難いことかもしれません。今は心に留め置いてもらえば十分です。しかし、3年間をふり返れば、皆さんはこの中村で多くの財産を得て来たのも事実であり、それは学力だけではありません。頼れる友人や仲間たちと互いの得意を生かして助け合い、力を合わせた経験もまた代え難い宝といえます。こうした経験を自信にして、将来きっと皆さんは、多様な個性を受け入れ、アイディアを上乘せして未知の発想にたどり着こうとするはずです。そうしたポジティブな姿勢を貫き、逆境を乗り越える力の支えになることばだと信じます。失ったものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ！

卒業おめでとう
ここからは専門性を高め、
creativeに生きよう!

守破離!  じま

卒業は自分の夢に近づく
「始まり」です。高校生活で
培ったことは一生の財産に
なるでしょう。中村高校は
「いっふるさと」、これらの
皆を応援しています。

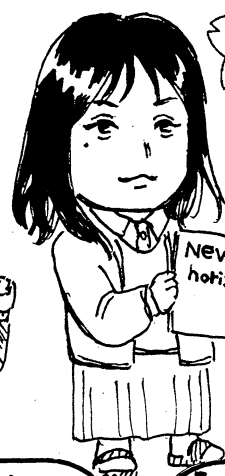
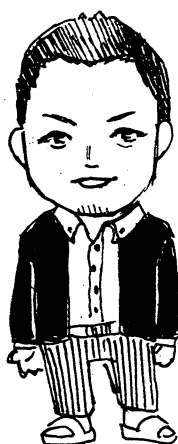
飯田 弥生

高校
受け
い
愛
18
お幸せに
Kikad

卒業おめでとう!
また、遊びに来るね

高松

第66回生



祝



2年8組の担任だった磯貝卓満で
す。これから「辛」い経験があっても、
それを乗り越えた一つ先には楽しく
「幸」せな時間があります。辛さに屈
せず、一歩ずつ前に進んでいって
ください。

横手大地
感謝の心を忘れずに
自分の夢を実現することができる
素晴らしい人に成長して下さい!

楽しい時も
心にはいつ
やさずに。
全部ひくる
人生を楽しむ

学不可以已。

田口

どんなときも、周りには
支えてくれている人がいます。
感謝の気持ちをもって、
一日一日を大切に。
卒業おめでとう!

302・306 副担任
宇野

学而時

(学んだ時にええ習)

うれ
学は嬉いよ
またいつか

時代に感謝と
公式を後輩に
贈ります。

$dx = \text{人生}$

guchi

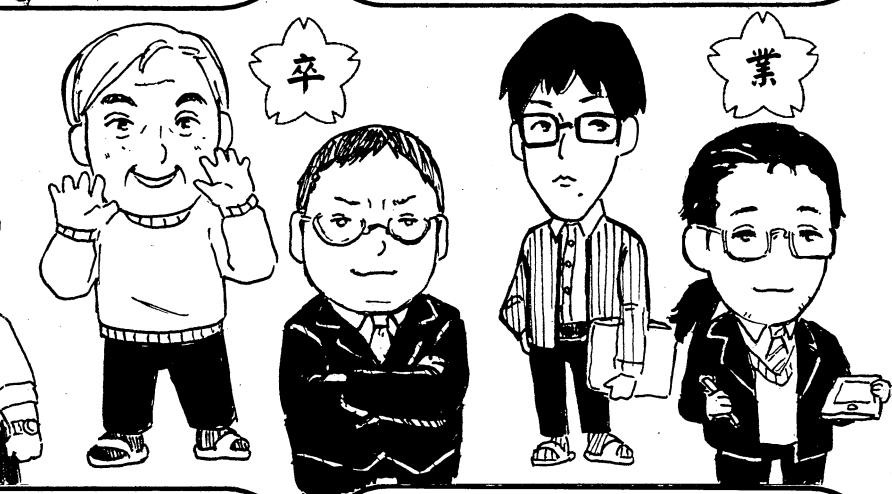
卒業おめでとう!!

今をひたむきに
生きることが、自分
と他人を笑顔に
することにつながって
いくと思います。
日々一生懸命
清水和孝

最初からできないからとやらないより、まずは「一生懸命やってみる」その気持ちが大切だと思います。そういうとき人はいい顔をしています。

卒業おめでとう！これからも応援しています！

加藤(梶田)沙希



aut disce
aut discede

いつまでも、学びを忘れない
人物でいてくださいね

水野

つらい時も、
「笑」を絶
えなくていいと
悪いこと
めて人生!!
204, 304担任
。窪田知え

今、目の前に見える道だけが人生のすべてではない。回り道や寄り道、道なき道を進んでもいい。人の道を踏み外さなければ、どれも自分にしかない経験となり次への可能性となる。それがやがて後輩たちの道標となることを期待する。

宇藤智弘

みなさんに、「仁」という漢字を贈ります。論語では「子曰、苟志於仁矣、無惡也。」と説いています。これは「まことに仁を志しているならば、悪いことはなくなる。」(岩波文庫より)という意味で、「仁」とは、相手を思いやる心と解釈されています。「仁」の心を大切にしていってください。

近藤 仁司



習え
不亦説乎
へよこばけうずや)
出会いを
ありがとう
前田学

卒業
おめでとう

自分の夢におかたて
がんばっていきましょう
フジヨシ

*There can be no rainbows
without a storm and clouds.*

Y. Hasegawa.

国際理解コース活動報告

国際理解コースは2年目をむかえました。コロナ禍の中でのスタートとなった本年度でしたが、1年生は6月JICA訪問、9月南山大学教授による国際理解についての講義と、コース独自の行事を予定通り行うことができました。10月のコース説明会では、1年生がファシリテーターとなって、中学生に対しSDGsをテーマにワークショップを行いました。11月には、ベトナムの農業・医療支援に携わってこられた広瀬紀子様（ホーチミン市観光大使）による講演もありました。どの行事においても、海外へ行かずとも、国際理解に関する知識と教養を身につけ国際的な視野を広げるよい機会となったようです。

また、本年度中止となったベトナム研修に替わる行事として、名古屋在住のベトナム人留学生との交流会を企画しました。1、2年生の有志による実行委員会を立ち上げ、生徒たちによる発案・計画・運営により、異文化交流や英語でのディスカッションなどを内容とした交流会を無事に終えることができました。



ベトナム人留学生との交流会



JICA訪問



コース説明会

その他では、1年生全員が神田外国語大学「第4回東南アジア小論文コンテスト」に応募し、その中で西岡珠希さんが「優秀賞」を受賞しました。2年生は国連「第67回 国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」に応募しました。

また、英検準2級・2級・準1級合格に向けて励む多くの生徒の姿がみられます。

防災講話

2021年1月8日(金)6限、本校体育館において、1・2年の生徒が、「あいち防災リーダー会」の岡田公夫氏による「防災講話」を受講しました。阪神淡路大震災と家具固定の関連性について、また風水害について等の貴重なお話を受け取り、生徒達も防災の情報を真剣にメモを取りながら、熱心に聞き入っていました。

